ボーリング柱状図

調　査　名　主要地方道　東城西条線　外測量地質調査設計業務委託（道路災害防除）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	小出居橋Ｎｏ．１	調査位置	広島県庄原市東城町森　外			北緯	
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所			調査期間	平成 27年 5月 27日 ～ 27年 12月 31日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 558.16m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 10°	使用機種	試錐機	東邦Ｄ－１	ハンマー落下用具	半自動
総掘進長	6.00m								エンジン	ヤンマーＮＦＤ１３	ポンプ	東邦ＢＧ－３

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事		孔内水位(m)／測定月日
1	557.56	0.60	0.60		砂質土	暗褐			砂は細粒砂主体。極僅かな粘土分を含む。 径10mm前後の角礫・円礫が少量混じる。		
2					礫混じり砂	淡褐	緩い～非常に密な		砂は粗粒砂主体。径20mm前後の角礫・円礫が多く混じる。 深度0.60～0.85m、2.70～2.80m間は硬質な玉石を挟む。 深度2.45mより礫・玉石間は密着している。		7/6 1.46
3	554.51	3.05	3.65								
4					花崗岩	淡灰			花崗岩の風化部。 採取したコアは風化が見られ、ハンマーの打撃で岩片状コアとなる。 亀裂の一部に褐色の薄い粘土を挟む。	CM	
5											
6	552.16	2.35	6.00							(CH) (CM)	
7											
8											
9											

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
1.15	1	4	3	8／30	8							
1.45												7/3
2.15	2	2	5	9／30	9							
2.45												
3.05	15	14	21／9	50／29	52							
3.34				50／0								
4.00	貫入不能											
5.00				50／0								7/6
5.00	貫入不能											
6.00				50／0								7/7
6.00	貫入不能											